

「イクケン香川」子育てでカレッジ

プレパパ・プレママ学科 C コース



日時 ● 11月6日(日) 13:25～14:30

会場 ● 岡田コミュニティセンター(丸亀市綾歌町岡田下 516-1)

対象 ● 結婚・妊娠・出産を控えた夫婦・カップル

プログラム

13:25～14:15 講演会

14:15～14:30 つながるシートで子育て支援の情報提供

眞鍋助産師さんからの情報提供

※13:00～15:00 子育て支援コーディネーターによる相談コーナー開設

【講演】 パパにできること ママにできること

香川大学教育学部准教授 松本 博雄先生
香川短期大学講師 常田 美穂先生

■ 母にできること

子どものこと、子育てのことなど、今はネットで何でも調べられます。しかし、体調不良の症状などを夜中に検索していると、悪いことばかりが目について、ますます不安になることが多いのではないのでしょうか。まずは、何かを参照するのではなく、「自分の子どもそのままをよく見て」ください。いつもの様子、調子が悪いときの様子、眠いときの様子など、観察することでわかってくることも多いです。

■ 0歳～2歳の子育て

慣れない育児の疲れや睡眠不足で大変！な時期ですが、0歳～2歳は文句なく「かわいい」時期でもあります。二度と戻ってこないスイートな時期なんですよ。

「よく寝ます」という赤ちゃんは、大変優秀です。うちの子は朝まで寝るようになるまで3年かかりました。赤ちゃん時代は、一晩中起きていても仕方ない、そういう時期だから…くらいの気持ちで、付き合っていきましょう。母は頑張りすぎず、夫婦で助け合ってください。

2歳児は大人のすることや大事な物をよく知っています。自分には触らせてくれないスマホやハサミなどに非常に興味を持っています。まだ分からないと思うことも、案外、理解しているものです。



お二人は、保育や子どもの発達の研究者であり、教育者でもあり、3人の子どもの親でもあります。



母親は意識して子どもと離れる時間を作って、ストレスをためすぎないように！



結婚・出産・子育ての体験談を交えながら、働く夫婦のコミュニケーションの仕方にもアドバイスをいただきました。

■ 父にできること

3人目の娘が生まれたとき、上の2人は2歳と4歳でした。夫婦ともに県外に祖父母が住んでいるので、妻の入院中は私が家事・育児を一手に引き受けて、父子家庭体験をしました。大変だったのは、2人の娘が同時に別の状況でかまってほしいけれど、同時対応は難しかったことです。たとえば、4歳児は「パパは好きだけど、ママ早く帰ってきて～」と泣く、その横で我関せずの2歳児が「パパ 本読んで～」とせがむという状態でした。

仕事のように「目標に向かってやり遂げるモード」では、子どもに邪魔されるばかりです。時間のない中でいかにやり遂げるか、マネジメントスキルが上がりましたね。

子どもができてよかったのは、仕事以外の自分の寄りどころができたことです。しんどい思いをしても、「パパ大好き」と言う娘の言葉で、報われますね。

● 質疑応答

質問「赤ちゃんが泣いているのに家事をしていると、罪悪感を抱く。あやしていると家事ができない。」

回答「あなたの代わりに抱っこしたりあやしたりする人がいない場合、多少泣かせればなしになっても仕方ありません。でもそれがストレスになるなら、しない家事があってもいいと割り切るか、子どもが寝ている間や他に子どもを見てくれる人がいるときに、まとめて食事作りをしておくといった工夫をしましょう。」

質問「夫婦で子育てについて考え方が異なるが…」

回答「考えが違ってよいと思います。片方の親に叱られた子どもが、もう片方の親の元に逃げ込むことができるように。しかし、夫婦でよく話して、考え方の違いを認め合うことや、日ごろからコミュニケーションをとることが大事です。」

子育てつながり・つながるシートで地域の子育て支援を知ろう！ NPO 法人わははネット
助産師さんからの情報提供 協力：(一社)香川県助産師会

● 助産師 眞鍋さんより

赤ちゃんが泣いたときの対応について、元気に泣いていたから、「生きる力があるんだ、泣いてサインを送っている」くらいに思っています。ただし、病気の場合は放置せずに対処しましょう。

妊娠・出産・子育てなど心配事があれば、助産師が応じる電話相談に相談してください。

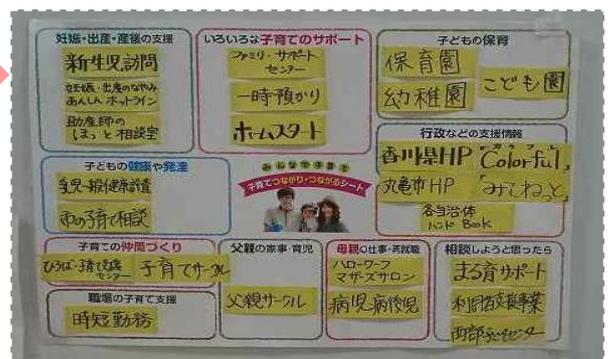
妊娠出産サポートセンター

TEL 087-843-5588

6:00～24:00 年中無休



丸亀市には、子育て支援総合相談窓口『まる育サポート～あだあじお～』が開設しました。



参加者アンケートより

- ・私も結婚して香川にきて、両親が近くにいない中、子育てしているので、同じような環境の先生たちの話が聞けてよかった。これから仕事も始めたいと思っているので、頑張りたいと思いました。(30代・女性)
- ・夫婦の意見は違ってよい、子どもは泣いてよいなど、心がスッと軽くなるように思いました。もっとたくさんの人に聞いてもらったら、子育てを楽しく思える人が増えて良いのと思いました。(40代・女性)
- ・いろんな方々が子育てをサポートしてくれていると感じてうれしかったです。(40代・女性)
- ・育児は大変ですが、今この時を楽しめるように、色々なサポートにも頼りながら頑張っていきたいです。良い機会になりました！ありがとうございました！！(20代・女性)
- ・夫は色々してくれているのに、自分の方が多く家事をしていると、イライラして怒ってしまっていたのですが、気がついた時にできる方がするという精神で、協力して頑張ろうと思いました。(30代・女性)
- ・妊娠したら…、子育てすることになったら…と不安なことばかり考えていましたが、今後、妊娠・出産・子育てすることになったら、大きく構えて、それぞれの時期を楽しみたいと思いました。(30代・女性)
- ・母と父の役割をちゃんと決めて、母側の負担を父側はちゃんと理解して手伝っていくことが大切だと感じました。子どもの事例の話はおもしろかったです。(10代・男性)
- ・参加させていただいてから、香川県で行うサポートや子育ての情報など、多くの新しい知識が増え、いい体験となりました。(10代・男性)
- ・頑張るが要領が悪い妻が少し力をぬいて子育てできればいいかなと感じました。(30代・男性)